

# 平成 28 年度 事業計画

## 事業概要

昭和54年(1979年)に、我が国の無機材料の学術と技術の発展に貢献することを目的として設立されました弊財団は、平成28年度(2016年度)に38周年を迎えると共に、公益財団法人として認定されて以来8年目を迎えます。この間、無機材料を中心とする萌芽的な研究に対して助成を続けてまいりましたが、その中には、基礎的研究から大きく発展したものや今後大いに期待されるものも少なくありません。萌芽的な研究が将来、日本の発展や世界の平和につながる大きな実を結ぶよう期待すると共に、弊財団も微力ながら助成活動による貢献を継続してまいりたいと考えております。

さて、欧州のテロ事件など世界情勢も混沌としている中、為替や原油価格の動向、そしてTPP等の新しい経済連携協定などにより、日本の景気は産業ごとに斑色の状況を呈しています。平成28年度も不透明な状況が続くことが予想され、弊財団としましては、このような経済状況の中、資産運用の最適化を図ると共に、経費の削減と積極的な寄付募集活動を継続してまいります。

助成事業活動規模は、従来通り国内研究助成事業(約 40 件)が中心ですが、国際会議や成果普及助成への貢献を増やし、総額約 47 百万円にて運営してまいります。弊財団は無機材料に関係する全国の大学・研究機関、あるいは海外からも広く助成申請が届くようになってまいりましたが、今後更に認知度がアップするよう、改善策を検討していきたいと思っております。

具体的な事業活動は以下の通りです。

1. 研究助成事業について、第 38 回研究助成金の交付、および第39回研究助成の募集
2. (日本で開催される)国際学会への助成
3. (海外渡航を含む)研究成果普及への助成
4. 成果普及事業として、成果報告書の出版および研究成果発表会の開催
5. 財団運営体制の整備

## 事業内容

### 1. 研究助成事業

#### (1)国内研究助成

##### ・平成28年度(第 38 回)研究助成事業

昨年度に募集選考した候補者に対し、助成金を交付する。助成規模は前年度と同額の 41,300 千円(約 40 件)とする。研究助成金贈呈式を平成 28 年 4 月 21 日(木)に開催する。

##### ・平成 29 年度(第 39 回)研究助成事業

平成 29 年度研究助成応募要領を作成し、候補者を募集する。助成規模は平成 28 年度と同程度とする。

#### (2)海外研究助成

平成 28 年度海外研究助成応募要領を作成すると共に、昨年に引き続き、海外版ポスター準備する。助成規模としては、平成27年度と同程度(30Kドル)とする。

## 2. その他助成

(日本で開催される)国際会議助成及び(助成テーマに係る)成果普及助成(海外渡航を含む)を重視し、弊財団助成者以外も対象とする海外渡航助成は廃止する方向で検討する。助成規模は前年度から増額し、2,000 千円とする。

### (1)(日本で開催される)国際会議への助成事業

国際会議助成希望団体に対し選考を行い助成する。助成規模は 1,300 千円程度とする。

### (2)海外渡航研究者の助成事業

海外渡航助成希望者に対し選考を行い、助成する。助成規模は 200 千円程度を確保する。

### (3)成果普及への助成事業

過去に助成されたテーマに関する成果普及に関しては、シンポジウムの開催などに限らず、海外学会参加の渡航支援なども含める。その上で希望者に対し選考を行い助成する。助成規模は 500 千円程度とする。

## 3. 成果普及事業

### (1)平成 25 年度助成の成果報告書を出版する。(8 月予定)

平成 26 年度助成の成果報告書の編集を行う。

### (2)平成 25 年度助成の成果報告会として、平成 29 年1月に無機材料に関する成果発表会を企画実施する。

## 4. 財団運営体制の整備

### (1)公益財団法人に対応した財団運営体制の整備を進める。

### (2)財団の財政面での改善策を検討する。

### (3)財団の事業に関する、大学、各種研究機関、寄付者および広く一般に対する広報活動を充実させる。

前年度に引き続き、特に産業界に対する助成研究の成果についての広報活動に注力する。

### (4)一層の事業充実のため寄付金の募集を行う。

以上